

北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会で、労働者協同組合法人 設立第1号 ワーカーズ・コレクティブまどり
厚労省のホームページ「知りたい!労働者協同組合」好事例動画の取材を受けました



まどりは北海道札幌市の北星学園女子中学高等学校スミス寮で、1日3食寮生の食事を作っています

「まどり」はイタリア語でお母さんたち

2023年3月16日に労働者協同組合を設立し7ヶ月が経過しました。

取材をお受けするにあたり事前資料として、まどりの団体紹介や活動内容をまとめた書類を提供しました。その中で私自身も「協同労働」の魅力について再認識することができ、事業存続のために労協法人を立ち上げられて良かったと改めて感じました。

また、受託先の北星学園女子中学高等学校、スミス寮の舎監の先生や寮生さんにも取材にご協力頂けたこと、まどりメンバーが積極的にインタビューを受けてく

れたことはありがたかったです。

この動画が新たに労働者協同組合の取得を考える団体の参考になり、またワーカーズ・コレクティブという働き方を広めるきっかけとなれば光栄です。さらにまどりメンバーの励みとなり、学校やスミス寮のためにより一層お役に立てれば嬉しいです。

(労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブまどり代表 野口洋子)

原材料を厳選し、無添加の調味料、
遺伝子組み換えをしていない北海道産、
国産食品を基本に使い、手作りの味を提供しています。



労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブまどり好事例動画 <https://www.youtube.com/watch?v=8cuNVh0qcvE&t=338s>

第5回 協同組合の地域共生フォーラム
みんなで幸せに暮らせるまちづくり

〜協同組合らしいケアを考える〜

地域共生フォーラムは、JICA(一社)日本協同組合連携機構が主催で年に一度開催されています。今回は10月14日、愛知と茨城にサテライト会場が設けられ、久しぶりに集まって学習する場が出来ました。



愛知サテライト会場ではリアルでグループワーク

【一社】日本協同組合連携機構とは

堅苦しい漢字ばかりが並ぶこの組織が何をやる所なのか、始めは全くピンときませんでした。私達には、「生活協同組合」と「労働者協同組合」が最もなじみ深く、農協、漁協、森林組合までは理解できます。しかし、日本にはたくさん協同組合があり、医療福祉生協、県民生協、厚生農業協同組合連合会などは、どんな事業をするのかすぐにはわかりません。このように様々な協同組合の連携組織がJICAで、WNJはJICAの会員です。

4つの事例報告から学び

福井県民生協による社会参加型デイサービス「BLG」では、認知症の方が主体的に自分たちで話し合っ決めて、役割を見つけて仲間と共に行動しています。家事サポートを通じた地域課題の解決を行う労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブLavoriは、利用者と働く人は、「たすける」「たすけられる」という関係ではなく、対等に「たすけあう」お互い様の関係をつくるのが協同組合らしいケアであると提起しています。

J山梨厚生連は「がん教育」が小学生から高校生まで必修と定められたので、外部講師として出前授業に向き、子どもや家庭、地域に健康意識の向上やがん検診普及の活動を行っています。

キーワードは協同組合間連携

暮らしを支える多機能的な取り組み、労働者協同組合ワーカーズコープちばでは、不登校の子を持つママたちが集まって何でも話せる喋り場を作り、そこから「癒しのマルシェ」に発展していききました。また、不登校をテーマにした映画の自主上映をクラウドファンディングで実現したり、不登校生動画選手権の表彰式の運営チームになったりと、どんどん活動が広がっていき、その中でボランティアスタッフだった人が組合員となって働く好循環も生まれています。

後半は、グループに分かれて交流会が開かれ、私は茨城サテライト会場に集まった1人とチームに沿って意見交換をしました。「協同組合間連携」がキーワードとなり、「協同組合ネットワークいばらき」の活動として今後取り組みたいことも出てきて有意義でした。

協同組合は行っている事業も様々ですが、お互いに得意分野を生かし協同できたら、地域がもっと住みよくなるだろうと思います。普段は自分たちの事業で一杯ですが、時には他の業種の方と接することは大事だと思えた一日でした。

(WNJ運営委員 小泉佐栄)

※BLGは日本で初めて社会参加型デイサービスを果たした、全く新しい加盟型認知症共創「コミュニケーション」